

2021 年 4 月 21 日

山形県でのバイオマス発電事業への参画について

東北電力、オリンピアと 3 社共同で

静岡ガスグループで電力事業を展開する静岡ガス&パワー株式会社（代表取締役 取締役社長 松本尚武）は、再生可能エネルギー事業や不動産事業を手掛ける株式会社オリンピア（代表取締役 西村和広）が設立した「鳥海南（ちょうかいみなみ）バイオマスパワー株式会社」に出資参画し、東北電力株式会社（取締役社長 社長執行役員 樋口康二郎）およびオリンピアとの共同で、鳥海南バイオマス発電事業に取り組むことといたしました。

本事業は、山形県の北部に位置する遊佐町（ゆぎまち）に、輸入木質ペレットを主な燃料とする出力規模 52,900kW の専焼バイオマス発電設備を建設・運営する計画で、2024 年度中の運転開始を予定しております。

なお、静岡ガスグループにとって、バイオマス発電事業に取り組む初の事例となります。

静岡ガスグループは 2021 年 2 月に公表した 2021-2023 年の中期計画で、再生可能エネルギーを新たな成長分野と位置づけ、重点投資をする方針を示しました。今後も持続可能なエネルギー社会の実現を目指し、再生可能エネルギー電力の開発に積極的に取り組んでまいります。

以上